



うちのイチ押し!

今月号に掲載している講座・イベント・展覧会の詳しい内容を、その事業の担当者が直接PRするコーナーです。

今回ご紹介するのは人・愛・ふれあいプラザ浪速・西・港・大正区実行委員会主催の「人・愛・ふれあいプラザ 講演会」です。

人・愛・ふれあいプラザ 講演会 「心の時代～いのちの響く言葉、生きる力～」

柳田 邦男さん(作家)

ふれあいと温もりのある人にやさしい社会の実現をめざして!

「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利について平等である」とうたった「世界人権宣言」が1948年第3回国連総会で採択されてから60周年を迎えました。

今や、人権尊重の精神は世界的な潮流となり、わが国においても人権意識の高揚が図られてきました。しかし、依然として部落差別をはじめとする人権侵害事象が、今なお後を絶たない状況にあり、人権問題に関する人々の意識は必ずしも十分とはいえません。

このような現実を、深く受けとめるとともに、1994年9月9日浪速・西・港・大正の4区で採択された「あらゆる差別の早期撤廃と人権尊重のまちづくりをめざす」区民宣言の一層の周知を図り、真に実効あるものにし、人権が尊重され部落差別をはじめ一切の差別を許さない、ふれあいと温もりのある人にやさしい社会の実現をめざし、人・愛・ふれあいプラザ 講演会を開催します。

お問い合わせ

浪速区役所人権生涯学習担当
TEL 6647-9975 FAX 6631-9999

西区役所人権生涯学習担当
TEL 6532-9743 FAX 6538-7318

港区役所人権生涯学習担当
TEL 6576-9743 FAX 6572-9512

大正区役所人権生涯学習担当
TEL 4394-9743 FAX 4394-9989

浪速人権文化センター
TEL 6568-0791 FAX 6568-4989

2/27(日)

14:00～(開場13:00)

浪速人権文化センター
(JR環状線「芦原橋」駅南口すぐ)

入場 無料
定員 当日先着1000人
手話通訳 あり

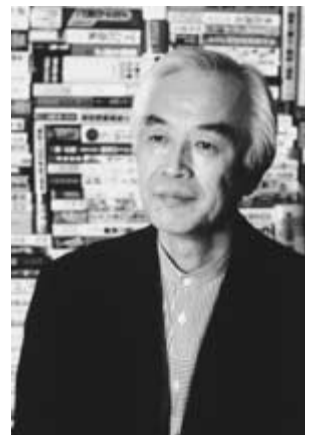
(車での来場不可)



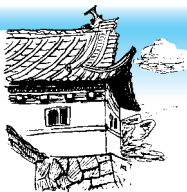
<講師紹介>

柳田邦男(やなぎだくにお) 作家

NHK記者を経て作家活動に入る。現代人の“いのちの危機”をテーマに、事故、災害、公害、病気、戦争などのノンフィクション作品を書き続けている。最近は、とくに終末期医療、医療事故問題、心の危機、少年事件、絵本の重要性等について積極的に発言。1972年連続航空機事故の謎を追った『マツハの恐怖』で第3回大宅壮一ノンフィクション賞、79年『ガン回廊の朝(あした)』で第1回講談社ノンフィクション賞を受賞。また、95年『犠牲(サクリファイス)わが息子・脳死の11日』とノンフィクション・ジャンルの確立への貢献で、第43回菊池寛賞を受賞。「大人こそ絵本」のキャンペーンを進めている。



言葉は事実を表すための単なる記号ではない。そこには必ず魂が込められている。いのちを失った言葉は壊れ、そこに暴力が生まれる。家庭内で日常的に暴力にさらされる子ども達。暴力の被害者であると同時に、加害者にもなる子ども達。ケータイ・ネットの普及とともに親子関係が希薄化する現代に、絵本の大切さを説き、幼少期に注がれるあたたかい愛情の重要性を、あらためて考える—



おおさか歴史探訪②

大阪の史蹟や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

四天王寺石鳥居に納められた民俗資料

—極楽浄土を願う庶民のおもい—

四天王寺西門の西側に石鳥居があります。西方の極楽浄土へ通ずる入り口として、平安時代以降、多くの人の信仰を集めました。もとは木造でしたが現在のものは鎌倉時代の永仁2年(1294)につくられたもので、石鳥居としてはわが国で最も古いもののひとつです。

この鳥居を1997年に修理したとき、ある発見がありました。2本の柱の頂部に乗る横架材のうち下側のもの(鳥木)を覆っている銅板を外したところ、すき間からたぐさんの納入品が発見されたのです。経木と紙包みが主でしたが、紙包みの中には、毛髪、火葬骨の碎片、臍の緒などが入っていました。包んだ紙には極楽浄土を願って南無阿彌陀仏などの文字が書かれ、あわせて奉納者の名前が記されているものもあり、その多くは町人のものでした。そのほかに写経帳や奉納帳、銭、数珠などもありました。

納入の時期は、確認できるものでは、古いもので永正13年(1516)から新しいもので江戸時代の寛文9年(1669)のものまでありました。何度か行われた修理の際に納入されたものでしょう。当時の人たちの、極楽浄土を願う強い気持ちが伝わってくるようです。中世以降の浄土信仰のありさまを知るうえで貴重な資料として、大阪市の文化財(有形民俗資料)に指定されています。これからの納入品は、修理が終わったときに元通りに鳥木の中に納められました。

(文:教育委員会文化財保護担当)

